

Taro MIRAI

概要：和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。
和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は
300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300
から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から
400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文
字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で
記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述
すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述する
こと。和文は 300 から 400 文字で記述すること。和文は 300 から 400 文字で記述すること。

キーワード：北海道, 函館, 亀田中野, 公立はこだて未来大学

[illegible]

Keywords: Hokkaido, Hakodate, Kamedanakano, FUN

1 背景と目的

このサンプルは情報システムコースにおける
中間報告書の様式について説明したものである。
必ずしもこの雛形を使う必要はないが、仕上がり
イメージはできる限りこの雛形にあわせること。

用紙サイズは A4, 向きは縦とし, 上下の余白は 30mm, 左右の余白は 25mm とする. 本文には明朝体と Times New Roman を用いる. ただし, タイトルや章節の見出し, 図表のキャプションはゴシック体とする. タイトルは 14 ポイント, 氏名と章の見出しは 12 ポイント, 節の見出しは 11 ポイント, その他は 10 ポイントとする. また, 和文タイトルから英文キーワードまでは 1 段, 本文は 2 段で構成とし, 1 段のセクションは 42 文字 \times 45 行, 2 段のセクションは 20 文字 \times 45 行とする.

なお、章立てはあくまでも参考であり、これに限らない。

2 ○○コースにおける本研究の位置づけ

中間報告書中のいずれかの場所に、学生所属
コースのカリキュラム・ポリシーに基づき、本
研究の位置づけを述べる。

未来大学のカリキュラム・ポリシー <https://www.fun.ac.jp/curriculum-policy>のうち、学生所属コースの項に書かれている卒業研究に関する記述を参照。

3 関連研究

中間報告書の文量は4ページとする。学籍番号をファイル名としたPDFファイル1つにまとめた形で作成すること。提出するファイル名はb10xxxxx.pdfとする。

句読点は「,」,「.」とする。「、」,「。」は使用しない。アブストラクトなど英文表記の部分については、スペルチェックプログラムによるチェックをする。

4 提案する理論

4.1 数式

数式による記述が必要な場合は、式番号を適切に参照しながらまとめること.

4.2 図・写真

読者の理解を助けるため、図や表を効果的に利用すること. 図のキャプションは

図 1 ○○○○

のように、図の下に記す. 表のキャプションは

表 1 ○○○○

のように、表の上に記す.

5 実験と評価

6 考察

7 結言

参考文献

- [1] ○○△△, システム情報科学会論文誌, 2, 13-19, 2002.
- [2] A.B.Cdddddd, J. Systems Information Science, 11, 1145-1159, 2001.
- [3] ○○××, □□△△, システム情報科学, ☆☆出版, 1999, 20-21.
- [4] E.Fggg and H.Ijjj, Electrical Engineering, KKPress, 2003, 281-284.